

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第1回 牧田小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年5月17日(金)14:00～15:00

2 場 所 多目的室

3 あいさつ(学校長, 委員長)

<委員長>

- ・厚生労働省が「健康づくりのための睡眠ガイド」を10年ぶりに改定した。その中で、子どもの睡眠時間について睡眠の質は大事だが量も確保する点が示されていた。小学生は9時間～12時間の確保が望ましいとされている。大リーグの大谷選手も睡眠の大切さについて話している。牧田小は以前から「すいみんの日」を設定し、取組に力を入れているので大切にしてほしい。
- ・教員の人手不足が課題となっている。教育委員会とも力を合わせて人員の確保に努めてほしい。

<校長>

- ・学校運営協議会の組織運営とその役割について(別紙)

4 協議事項

(1) 学校経営方針について

ア 学校長より説明(別紙)

イ 協議内容(○:委員の発言 ●:回答等)

○	公開研究会で算数の研修とあるが、PTAの手伝い等大変ではないか。過去の経験から駐車場確保や案内等で大変だったので。
●	以前はたくさんの参加者があったが、最近の研究会は規模を縮小しているので、少しの支援で大丈夫だと考えている。
○	外国につながる人がある人が多くなってきた。私の地区でも外国につながる人々と日々接する機会があるが、毎日挨拶をしていると、相手から挨拶をして接してくれるようになってきている。地域づくりでもやっていけるとよい。また、地域と学校で連携できるとよい。
○	地域では、弁天山祭りなどに出ていただく等のイベントの出し物にお願いすることはあるが、それ以上となると難しいところもある。
○	知らない人には挨拶ができない児童が多いが、マスクをとって挨拶したり声をかけたりすることで、覚えてもらって挨拶ができるようになってきた。
○	コロナ渦の時からグータッチをすることで児童とのかかわりを続けている。児童の中には子どもたちの登下校の楽しみとなっている子もいる。

●	牧田小学校では多文化共生を大切にして、「牧田万博」で取組についての情報発信をしている。日頃から困ったことや悩んだことを相談できる雰囲気づくりに努めている。地域の方からいただいた挨拶の大切さや事例についても紹介したり、地域の方を招いて児童にも伝えたりしていきたい。
○	学級の中には、発達しょうがい等で一斉授業が難しい児童もいると思うが、学校はどうしているのか。
●	校内支援会議を開いて、学級の中で過ごすことは難しいけれども、別室であれば登校して学習できる児童には校内適応指導教室「ほっとルーム」で学習している。児童の実態に応じて教育委員会等の関係機関とも連携して、個々の児童に応じて、支援会議でアセスメントして、医療や発達検査にもつなげている。
○	自習の見回りボランティアから、集中して学習している児童の妨げになる行動をする児童がいる場合は、教室配置や落ち着ける部屋の設置を考えた方がいいのではと思うことがある。部屋は別にできるのか。
●	年々支援を要する児童の数は増加しているので、特別支援学級以外に、人員が確保できないので個別に部屋を設けるのは難しい。

(2) 学校関係者評価について

ア 学校長より説明(別紙)

今年度は学校運営委員会の前に授業参加をしていただき、授業や児童の様子を知ってもらう機会を2回設定している。

(3) 基本的生活習慣の定着に向けて

ア 学校長より説明(別紙)

(4) 今年度の学校運営協議会、校区拡大学校運営協議会について(別紙)

5 その他

○	水泳の授業は今年もコナミを使うのか。コナミを使っていけると先生の負担も減ってよい。
●	今年もコナミを利用していく。

6 教育支援課より

- ・牧田小学校では、「牧田万博」を以前から実施し、多文化共生についての日々の取組を発信しているが、地域でも取組事例も紹介いただいたので、一緒に取り組んでいけるとよい。
- ・教員の人手不足については、働き方改革も踏まえて教師になりたいと思える人が増えるような学校現場にしていけるとよい。